

2004年10月16日(土)カブ隊ハイキング in 尾道

指令書

1. 各組長は、藤間副長からルートを教えてもらい、それを組員全員にも写させること。
2. 尾道では組長、副長のリーダーシップのもと、ルートにそって駅から西國寺(さいこくじ)まで進むこと。ただし、千光寺公園では昼食休けいなどがある。なお時間の早さはきそわないので、ゆっくり見物しながら進む事。
3. 各組に配った5枚の写真a、b、c、d、eは、それぞれどこで写したのか? 場所を地図に書き込め。(順番にはなっていない。よ〜くさがさないとわからないものもあるぞ)
4. 千光寺公園に着くまでに、俳句を一句以上つくり提出すること。優秀な句にはポイントを与える。(ただし俳句は「秋」、「尾道」を感じさせるものにする事)
5. 観光客の人に話しかけ、何県から来られたかをたずねる事。遠いところから来た人に会ったほどポイントが高いぞ。外国の人に話しかければgood!(自己紹介し、質問の意味をよく説明した上で、決して失礼のないように)
6. 御袖天満宮(みそでてんまんぐう)の鳥居の下から、天満宮まで階段が何段あるか数えよ。同じように西國寺の草履(ぞうり)のかかった仁王門をくぐり、数段上がったあとから始まる、ひとつづきの階段が何段あるかも数えよ。
7. 尾道文学クイズ。答えはルート上にあるかも。

大正時代に尾道に住んだ事がある作家で、代表作「暗夜行路(あんやこうろ)」を書いた人はだれでしょう?

文学のこみち上のながめの良いところに、林芙美子(はやしふみこ)の石碑があります。最初の一文をおぼえましょう。

近代俳句の父と呼ばれる正岡子規(まさおかしき)が熱中し、アメリカからいち早く日本に紹介したスポーツは何でしょう?
8. おこずかいの500円は、ロープウェイ下り時の運賃と、記念品などに使う事。記念品になるようなお土産はルート上のほか、帰りに通る商店街にもある。なお、歩きながらの飲食は絶対にしないこと。